

アメノウオのつかみ取りに夢中



暑さを忘れて自然を満喫

◎せせらぎ魚っちゃんぐ

自然の「涼」を満喫する「せせらぎ魚っちゃんぐ」は7月17日、節安ふれあいの森で行われ、町内外から訪れた大勢の親子連れなどでにぎわいました。

会場では、小学生対象の水生物の勉強、アメノウオの溪流釣りやつかみ取りなどが行われ、どのコーナーも来場者でいっぱいになるくらいの盛況ぶり。それぞれの分野で水と親しみました。

この催しは「日吉一希を起す会(谷口美穂会長、会員20人)」主催。

守りを固める鬼北ジュニア



決勝進出も一歩及ばず準優勝

◎南予ジュニアソフトボール選手権大会

「南予ジュニアソフトボール選手権大会」は7月11日、鬼北総合公園グラウンドで行われ、南予で予選を勝ち上がった16チームが参加しました。

本町からは、鬼北ジュニアが出場し、決勝まで駒を進めました。決勝の相手は、伊方スポーツ少年団。ほぼ互角の両チーム。制限時間になっても同点だったため、タイブレイクでの戦いとなりました。結果、6対5で惜しくも敗れましたが、土田慎一コーチ「奈良」は「内容は悪くなかった。次につながる結果」と評価していました。

大勢の来場者でにぎわう会場



さまざまな催しで夏の夜を楽しむ

◎各地区夜市

各地区の団体や商工会主催の夜市が、それぞれの地区で行われ、大勢の地元住民や帰省客らでにぎわいました。

夜市では、出店、ゲームコーナー、ステージでの演芸、小学生や保育園児らによる出し物などが行われました。

子どもたちには、輪投げやボールすくいなどが人気を呼び、大人は久しぶりに会う友人らとの会話に花を咲かせるなど、参加者全員が夏のひとときを楽しみました。

ホームランなら100円



ヒットやエラーで約9万円集まる

◎好藤チャリティーソフトボール大会

「好藤チャリティーソフトボール大会」は7月17日、好藤小学校グラウンドで行われ、地元住民やスポーツ少年団の選手らが参加しました。

この大会は、ヒットやエラーなど一つ一つのプレーに募金をするというルールが設けられています。試合中も笑いが絶えず、参加者は楽しそうにプレーしていました。

大会で集まった約9万円の寄付金は、好藤保育所、好藤小学校や好藤スポーツ少年団の活動資金として寄付されるそうです。